

5.5 E地域(大戸地区)

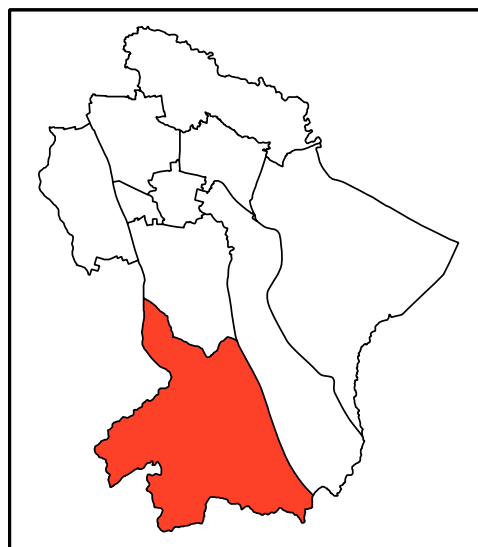
(1)地域の現状と課題

①芦ノ牧温泉の活性化

E 地域は、本市の南西部に位置し、地域を南北に流れる阿賀川沿いには、農地や住宅地が形成され、下流には本市を代表する温泉地のひとつである芦ノ牧温泉街があります。

芦ノ牧温泉は、阿賀川の溪流や周辺の木々の四季の変化などを楽しむことができます。

また、会津の奥座敷として多くの人が訪れますが、近年、観光形態等の多様化が進んでいることから、本市の観光資源として再認識し、芦ノ牧温泉の活性化等の取り組みが必要となっています。



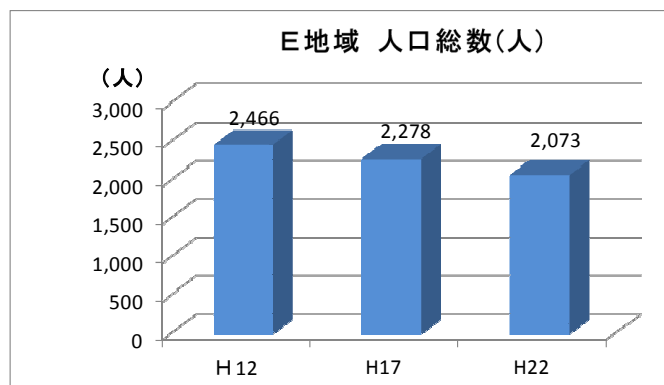
②豊かな自然と地域の歴史を活かした観光振興

地域の南側から東側にかけては丘陵地となっており、大川羽鳥県立自然公園や阿賀川の溪流、山並みなど豊かな自然に恵まれています。

また、東日本最大といわれる大戸古窯跡群があり、こうした自然の保全・活用、歴史を活かした観光振興が求められています。

③農地の保全と農業の振興

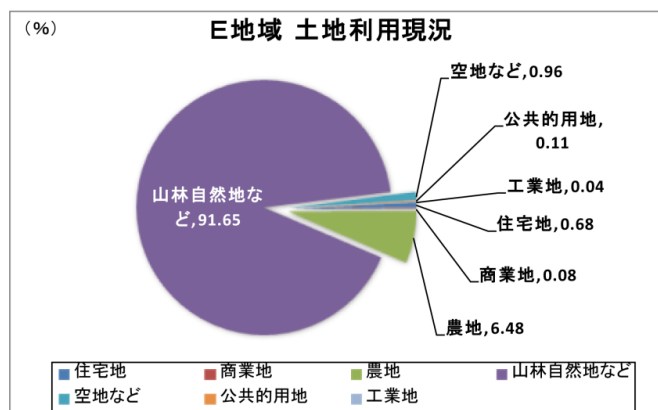
地域の中央部の平坦地には、稲作を中心とした農地が広がっており、東側丘陵地では果樹栽培が行なわれています。こうした農地の保全を図りながら、後継者の育成や農業の6次産業化など、農業の振興に取り組んでいくことが求められています。



出典：国勢調査

④山村などの自然環境の保全

地域を流れる阿賀川の貴重な水資源や、大川羽鳥県立自然公園をはじめとする美しく、多様な機能を有する森林が広がっており、豊かな自然環境や自然景観を保全し、次世代に継承することが求められています。



出典：都市計画基礎調査

(2)地区別懇談会での意見

E地域は「大戸地区」から構成され、地区別懇談会では以下のご意見・ご提案をいただきました。

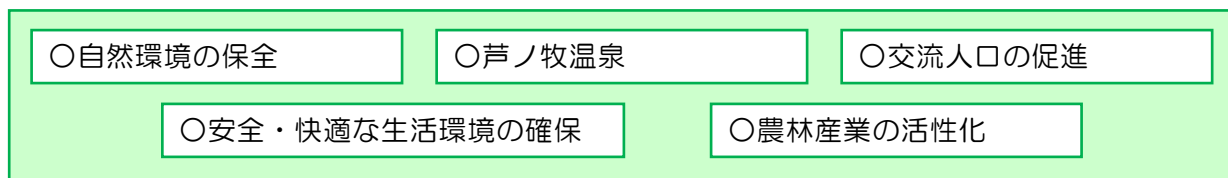
地区名	主な意見
大戸地区	○森林が多く、自然環境に恵まれた地域である。 ○観光果樹園や歴史遺産、温泉、大川ダム、農村公園などの観光資源があるが、活用されていない。 ○鉄道で首都圏と結ばれているが、路線バスの本数が少ない。 ○地域コミュニティ活動が活発であるが、高齢化、人口減少により、その維持が課題となっている。 ○地域の骨格となる国道をはじめ、地域内の道路の幅員が狭いため、改修等が課題となっている。 ○阿賀川に魚が生息していない。 ○除雪の対応が悪いため、歩行者が歩くことができない。 ○集落内の各戸が離れているため、防犯・防災対策のための支援をしてほしい。 ○地域内に産業が少ないため、既存の産業の活性化が課題である。

(3)地域の将来像

地域の現状と課題、いただいたご意見から、E地域のまちづくりを考える上での「キーワード」として以下のものがあげられます。

この「キーワード」を踏まえ、E地域は、阿賀川を中心とした豊かな自然の中で、芦ノ牧温泉の活性化と自然を活かした観光のまちを目指すこととし、地域の将来像を設定します。

【キーワード】



【地域の将来像】



**豊かな自然資源を観光や農業に活かし、
集い、憩い、交流するまちをつくる**

(4)まちづくりの目標

①豊かで貴重な自然を活かした交流を推進する

貴重な自然空間は、その魅力を活かしながら、自然とのふれあい、レクリエーションなど様々な活用を図り、市民や観光客など多様な人々が交流する場として活用を図ります。

②温泉と自然の恵みを活かした観光の拠点形成する

東北屈指の温泉地で、会津の奥座敷である芦ノ牧温泉は、温泉を活かし、自然に囲まれた観光の拠点としての機能の充実を図ります。

(5)地域別方針

1)都市機能の方針

- 地域のコミュニティ拠点として、公民館等の機能の充実を図り、地域におけるコミュニティ活動や交流を促進します。
- 芦ノ牧温泉は、温泉や自然の恵みを活かし、医療・福祉拠点として機能の充実を図るとともに、観光の拠点としての機能充実を図ります。
- 公共交通の利便性向上、利用増進に向けた取り組みについて、地域住民等との連携を図りながら、検討を進めます。
- 地域の中央の農地を田園ゾーンとして保全を図るとともに、農業のブランド化やグリーンツーリズムなどによる観光農業、付加価値の高い地場産業の育成を支援し、地域産業の活力を高める取り組みを推進します。

2)土地利用の方針

- 上三寄の宿場町のまちなみの保全を促進し、観光などへの活用を図ります。
- 農村集落地は、田園風景との調和を継続していくとともに、集落としての活力を将来的にも維持していくための土地利用を推進します。

3)都市施設の方針

- 地域内交通の安全性と快適性を確保するため、歩行者と自動車を分離する人に優しい道路づくりを推進します。
- 道路、公園などの都市施設の整備にあたっては、バリアフリーを基本として整備を推進します。
- 芦ノ牧温泉や大戸古窯跡群をはじめ、豊かな自然・歴史資源を活かした観光ルートづくりを進めます。
- 集落における浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上と自然環境への負荷の軽減を図ります。
- 既存の消融雪施設を有効に活用するとともに、地域との連携のもと、除雪の充実を図りながら、冬期間における安全な生活環境を推進します。

4)都市環境の方針

- 自然環境との調和を図りながら、優良な農地の保全を支援していく体制づくりを推進します。
- 生活の利便性の向上、生活道路の整備、防犯対策の推進などにより、住み続けたいと思える良好な住環境を形成します。
- 芦ノ牧温泉は、温泉街としてのまちなみ、道路修景などにより、温泉情緒のある景観づくりを推進します。
- 阿賀川（大川）の河川環境の保全を図り、川沿いの山並みと調和した豊かな自然景観づくりを推進します。
- 快適で安全な生活環境を保全するため、生活道路の整備や、住民はじめ地域ぐるみによる防犯灯の設置などを進め、夜間でも安心して暮らせる地域づくりを推進します。

5)都市防災の方針

- 公共施設や学校、公園などを防災施設として活用するとともに、避難路の安全対策を図りながら、災害に強いまちづくりを推進します。
- 住宅地、集落における防災性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断の促進を図るとともに、狭小道路や行止まり道路の解消を推進しながら、新耐震基準以前に建てられた建築物を中心に耐震化を促進していきます。

■E地域(大戸地区)方針図

